

# JIS

## データキャリア識別子 (シンボル体系識別子を含む)

JIS X 0530 : 2003  
(ISO/IEC 15424 : 2000)  
(JEITA/JSA)  
(2008 確認)

平成 15 年 5 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	棟 上 昭 男	東京工科大学
(委員)	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	石 崎 俊	慶應義塾大学
	伊 藤 文 一	財団法人日本消費者協会
	岩 下 直 行	日本銀行金融研究所
	大久保 彰 徳	株式会社リコー
	岡 山 淳	総務省行政管理局
	笥 捷 彦	早稲田大学
	喜 安 拓	総務省情報通信政策局
	後 藤 志津雄	株式会社日立製作所
	小 町 祐 史	松下電送システム株式会社
	斎 藤 輝	日本アイ・ピー・エム株式会社
	関 口 裕	社団法人電子情報技術産業協会
	成 田 博 和	富士通株式会社
	八 田 勲	財団法人日本規格協会
	平 野 芳 行	日本電気株式会社
	平 松 幸 男	日本電信電話株式会社
	伏 見 諭	株式会社情報数理研究所
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 川 秀 眞	財団法人日本情報処理開発協会
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	渡 辺 裕	早稲田大学

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 15.5.20

官 報 公 示：平成 15.5.20

原 案 作 成 者：社団法人電子情報技術産業協会

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 11 三井海上別館ビル TEL 03-3518-6434)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 杉浦 賢)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 棟上 昭男)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課情報電気標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO/IEC 15424 : 2000**, Information Technology – Automatic identification and data capture techniques – Data Carrier Identifiers (including Symbology Identifiers) を基礎として用いた。

**JIS X 0530** には、次に示す附属書がある。

附属書 A (規定) 維持管理

附属書 B (規定) シンボル体系のエミュレーション

附属書 C (参考) 参照規格

## 目 次

	ページ
序文 .....	1
1. 適用範囲 .....	1
2. 引用規格 .....	1
3. 定義 .....	1
3.1 コードキャラクタ (code character) .....	1
3.2 フラグキャラクタ (flag character) .....	1
3.3 変更子キャラクタ (modifier characters) .....	1
3.4 FNC1 .....	2
3.5 FNC2 .....	2
4. 要件 .....	2
4.1 構造 .....	2
4.2 コードキャラクタ .....	2
4.3 変更子キャラクタ .....	3
附属書 A (規定) 維持管理 .....	9
附属書 B (規定) シンボル体系のエミュレーション .....	10
附属書 C (参考) 参照規格 .....	12
解 説 .....	13

# データキャリア識別子 (シンボル体系識別子を含む)

## Data carrier identifiers (including Symbology Identifiers)

**序文** この規格は、2000年に第1版として発行された **ISO/IEC 15424**, Information technology – Automatic identification and data capture techniques – Data Carrier Identifiers (including Symbology Identifiers) を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある“参考”は、原国際規格にはない事項である。

**1. 適用範囲** この規格は、自動認識装置とホスト装置との通信規約に適用し、バーコードリーダなどの自動認識装置からのデータ伝送において、ホスト装置で解釈可能な、自動認識装置が付加するデータキャリア識別子を規定する。データキャリア識別子は、データメッセージに関連したある特定の追加的処理情報とともに、バーコードシンボルの種類及びデータの送信元を示す。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

**ISO/IEC 15424 : 2000**, Information technology – Automatic identification and data capture techniques – Data Carrier Identifiers (including Symbology Identifiers) (IDT)

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版 (追補を含む。) を適用する。

**ISO/IEC 646** Information technology – ISO 7-bit coded character set for information interchange

**EN 1556** Bar coding – Terminology

**3. 定義** この規格で用いる主な用語の定義は、**EN 1556** によるほか、次による。

**3.1 コードキャラクタ** (code character) データキャリア識別子文字列における2番目のキャラクタ。読み取られたデータキャリアの種類をホスト装置に示す。

**3.2 フラグキャラクタ** (flag character) データキャリア識別子文字列における最初のキャラクタ。このフラグキャラクタ及びそれに続くキャラクタが、データキャリア識別子キャラクタを構成することをホスト装置に示す。

**3.3 変更子キャラクタ** (modifier characters) データキャリア識別子文字列におけるコードキャラクタに続く残りのキャラクタ。特定の追加的処理情報をホスト装置に示す。